

粉じん又は有害ガスに係る特定施設構造等変更届出書の記入例

特定施設構造等変更届出書

令和〇年〇月〇日

富山県知事 〇〇 〇〇 殿
市町村長 〇〇 〇〇 殿

届出者 住所〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号
氏名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

富山県公害防止条例第11条第1項の規定により、特定施設（騒音に係る特定施設を除く。）の構造（特定施設の使用の方法、ばい煙等（騒音を除く。）の処理の方法）の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社 〇〇工場 (電話番号) 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	※ 市町村受理 年 月 日	年 月 日
工場又は事業場の所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇号 (郵便番号)〒〇〇〇-〇〇〇〇	※ 受理年月日	年 月 日
公害防止のための管理責任者職氏名	公害防止統括者 〇〇 〇〇	※ 前回届出番号	第 号
常時使用する従業員数	117人	※ 整理番号	
特定施設の種別	6-(1) 反応施設	※ 施設番号	
△ 特定施設の構造	別紙のとおり	備考	
△ 特定施設使用の方法	別紙のとおり	※	
△ ばい煙等(騒音を除く。)の処理の方法	別紙のとおり		
変更予定年月日及び変更の理由	令和〇年〇月〇日 老朽化のため		
※ 市町村長の意見又は審査結果			

注意点

- これは特定施設の構造及び使用の方法又は処理の方法を変更する場合の記入例です。
- 届出書は各区分（下記を参照）ごとに作成してください。

様式第1号：特定施設設置届（全ての区分で共通）
 別紙1～3：ばい煙に係る特定施設
 別紙4～5：粉じん又は有害ガスに係る特定施設
 別紙6～8：汚水又は廃液に係る特定施設
 別紙9：悪臭に係る特定施設

- 特定施設の着手予定日の60日前までに届け出てください。
- (すでに着手している場合やこれより期間が短くなる場合は相談してください。)

年号又は西暦（西暦は4桁）で記入する。

届出者又は代表者の氏名等を記入する。
 (代表権のないもの(例えば工場長)が届出をする場合は、
 ①代表者と工場長を連名で記入（委任状不要）
 または
 ②工場長を記入し、委任状（写し可）を添付
 ※ 届出書・委任状ともに押印は不要

特定施設設置工場又は事業場の名称を記入する。

該当する特定施設の項番号及び名称を記入する。（施行規則 別表第1の2参照）

構造等を変更した理由を具体的に記入する。（記入例：製造工程の変更のため、特定施設が故障したため等）

備考 1 ※印欄には、記載しないこと。
 2 △印欄の「別紙」については、様式第1号の備考第2項の表の区分に応じた書類によること。
 3 別紙の変更のある場合については、変更前及び変更後の内容を対照させて記載すること。

粉じん又は有害ガスに係る特定施設の種類、構造及び使用の方法

変更する項目について、変更前及び変更後の内容を対照させる。
 [左欄] 変更前として、設置届（過去に変更届を提出した場合は、直近の変更届）の内容を転記する。
 [右欄] 変更後として、今回変更する項目についてのみ記入する。

		(変更前)	(変更後)	
粉じん又は有害ガスに係る特定施設の種類		6-(1) 反応施設	同左	← 該当する特定施設の項番号及び名称を記入する。(施行規則 別表第1の2参照)
特定施設の工場又は事業場における施設番号		反応槽-001	同左	← 当該工場又は事業場で当該特定施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。
基数		1基	同左	
名称及び型式		反応槽 〇〇社製 HANNO_01	同左	← 名称、製作メーカー及び型番を記入する。
規模・能力		300L	同左	← 特定施設の種類によって、その届出要件に該当する規模の種類又は特定施設の能力について、その値を記入する。(施行規則 別表第1の2を参照)
着手予定 設置 年 月 日		令和〇年〇月〇日	令和△年△月△日	← 該当するもの以外は、取消線を入れる。
使用開始予定 年 月 日		令和〇年〇月〇日	令和△年△月△日	
使用 の 方 法	種類	〇〇、□□	△△、××	← 粉じん又は有害ガスを発生させる全ての原材料を記入すること。
	使用割合	〇〇：60% □□：40%	△△：70% ××：30%	← 原材料中の成分割合(%)は、重量比又は容量比の別を明らかに記入すること。
	1日の使用量 (kg/日)	〇〇：150 □□：100	△△：200 ××：120	
	使用温度 (°C)	50	同左	
	使用圧力 (kg/m³)	常圧	同左	
	1日の使用時間及び 月使用日数等	0時~24時 24時間/回 1回/日 31日/月	同左	
	製品回収率 (%)	100%	同左	
参 考 項				

- 備考 1 粉じん又は有害ガスに係る特定施設の種類欄には、富山県公害防止条例施行規則別表第1の2に掲げる項番号及び(1)、(2)等の細分があるときはその番号並びに名称を記載すること。
- 2 粉じん又は有害ガスに係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、粉じん又は有害ガスに係る特定施設使用の届出にあつては設置年月日を記載すること。
- 3 粉じん又は有害ガスに係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、使用開始予定年月日を記載する必要はないこと。

粉じん又は有害ガスの処理の方法

変更する項目について、変更前及び変更後の内容を対照させる。
 [左欄] 変更前として、設置届（過去に変更届を提出した場合は、直近の変更届）の内容を転記する。
 [右欄] 変更後として、今回変更する項目についてのみ記入する。

		(変更前)	(変更後)	
使用又は発生する粉じん又は有害ガスの種類		メタノール	同左	
処理施設の工場又は事業場における施設番号		除害塔-001	同左	
処理施設の名称及び型式		除害塔 〇〇社製 JOGAL_01	同左	
着手予定年 月 日		令和〇年〇月〇日	令和△年△月△日	
使用開始予定年 月 日		令和〇年〇月〇日	令和△年△月△日	
処理能力	排気型式	自然・ 押込 ・誘引	自然・ 押込 ・誘引	
	風量 (m ³ /分)	70	同左	
処理に要する消耗資材	資材名	活性炭	同左	
	用途	メタノール吸着	同左	
	1日の使用量	50kg/日	同左	
処理効果	粉じん又は有害ガスの濃度	測定方法	検知管	同左
		処理前	100 ppm mg/Nm ³	200 ppm mg/Nm ³
		処理後	5 ppm mg/Nm ³	20 ppm mg/Nm ³
	排出ガス温度	捕集効率	95%	同左
		処理前 (°C)	40	同左
		処理後 (°C)	25	同左
排出ガス量 (Nm ³ /時)	最大	4,000	同左	
	通常	3,000	同左	
排出速度 (m/秒)		8	同左	
参考事項				

発生する粉じん又は有害ガスを記入する。(施行規則 別表第1の2の備考2参照)

当該工場又は事業場で当該処理施設を特定するために用いる番号、名称等を記入する。

除害塔、サイクロン、バグフィルタ、スクラバーなどの種類の別、メーカー及び型式を記入する。

該当するもの以外は、取消線を入れる。

・濃度は乾き排ガス量中の濃度を記入する。
 ・ND等と記入する場合は「ND (<0.2)」のように数値も記入する。
 ・規制基準については、施行規則別表第2の2を参照

・排出ガス量は、湿りガス量を記入する。
 ・「最大」は施設を定格で運転させた場合の数値を、「通常」は平均的な運転状況の場合の数値を記入する。

備考 1 粉じん又は有害ガスに係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、粉じん又は有害ガスに係る特定施設使用の届出にあつては設置年月日を記載すること。
 2 粉じん又は有害ガスに係る特定施設設置の届出にあつては着手予定年月日を、使用開始予定年月日を記載する必要はないこと。